

Collagenous colitis の病態・診断・治療

司会 札幌厚生病院胃腸科 今村 哲理
大阪鉄道病院消化器内科 清水 誠治

従来、Collagenous colitis は内視鏡的には異常所見がなく、生検組織で上皮下に collagen band がみられることで初めて診断されると考えられてきた。最近、本邦でも本症の報告例が急増しており、特徴的な内視鏡所見が存在することが知られるようになった。しかし、発症要因、診断基準、類縁疾患との鑑別、画像所見、経過など、検討を要する課題は数多い。今回のワークショップにおいて諸方面からの検討がなされることで、本症への理解が深まることを期待している。